

2023年7月31日

「第53回 機械工業デザイン賞 IDEA」(主催：日刊工業新聞社)  
 リニアモータ駆動 高速・高性能ワイヤ放電加工機  
 「AL600G “iGroove<sup>+</sup> Edition”」が「日本力賞」を受賞

このたび、リニアモータ駆動 高速・高性能ワイヤ放電加工機「AL600G “iGroove<sup>+</sup> Edition”」が、日刊工業新聞社主催の「第53回機械工業デザイン賞 IDEA」において「日本力(にっぽんぶらんど)賞」を受賞、7月27日に東京・大手町の経団連会館で贈賞式が行われました。

「機械工業デザイン賞 IDEA」は、機械分野の製品の中で、優れた機能美と性能を併せ持つものを、外部の有識者による審査委員会が選定して表彰するものです。高度経済成長期の1970(昭和45)年、日刊工業新聞創刊55周年記念事業として発足し、経済産業省・文部科学省・特許庁・日本商工会議所・産学6団体の支援を受け現在に至る歴史と権威のある賞です。

今回、応募数は31社31件で、その内容は工作機械や食品機械、ロボット関連製品、環境整備機器など多岐にわたりました。



「AL600G “iGroove<sup>+</sup> Edition”」は、世界初となる「ワイヤ回転機構」を開発し搭載。常に未消耗の状態でのワイヤ供給を可能にすることで、加工新法の安定化、良質な仕上げ面の獲得、仕上げ加工におけるワイヤ消費量を30%も削減\*しています。また、放電加工の本質である放電回路と制御の大幅な改善に取り組み、新しい「D-HF制御方式」により加工速度20%向上\*と加工精度向上の両立を実現いたしました。また、省エネ制御のインバータポンプによる加工液消費電力量50%削減\*\*など、ワイヤ消費量削減とともに持続可能な社会の実現に向けた高い環境対応性も兼ね備えています。「高速とエコ」をコンセプトにした最新技術のモノづくりをリードする画期的な性能が高く評価され受賞に至りました。

\*掲載データは当社の従来機との比較

\*\*60Hz 地域の場合の当社指定条件、当社指定環境、測定基準による



リニアモータ駆動 高速・高性能ワイヤ放電加工機  
 「AL600G “iGroove<sup>+</sup> Edition”」

1/2



世界初/新開発ワイヤ回転機構方式  
 「iGroove」

## ■贈賞式の様子



「日本力賞」贈賞式



スピーチをする古川社長



「日本力賞」の楯